

経済産業省

ASM

Attack Surface Management

導入ガイダンス対応

AEGIS EARLY WARNING SYSTEM

イージスEW 総合サイバーセキュリティ脆弱性診断ツール

ハッカーは、ホームページの
ASM脆弱性診断で、
攻撃先を選定します!!

イーゼスEW(AEGIS-EW)は、専門知識不要で運用できる総合サイバーセキュリティ脆弱性診断ツールです。

ASM (Attack Surface Management) 対策にはパッシブスキャンが必須です。

イーゼスEW(AEGIS-EW)は、エンドユーザが所有するドメインに含まれるネットワーク機器(サーバ含む)に対し、ASM(Attack Surface Management)を実施するパッシブスキャンとペネトレーションテストを実施するアクティブスキャンをラインナップした脆弱性診断ツールです。エンドユーザは悪意ある攻撃が行われる前に、ネットワーク機器に含まれる脆弱性リスクを知ることができます。エンドユーザは、これらの総合的な脆弱性診断を「専門知識不要で運用できる」点が大きな特徴です。

現在お使いの「ドメイン名だけ」で、ドメインに紐づく情報(ホームページ、メールサーバ、公開済みサービス等)の総合的な脆弱性診断が可能です。なお、「公開済みIPアドレス」や「サブドメイン等」については、イーゼスEWが自動で検索を行います。

グラフや色分けによるグラフィカルで分かりやすい結果表示により、システム納入時の「ハードニング(脆弱性対策を施すこと)」実施済証明を作成する際に、大きな説得力をプラスすることができます。



- ・この図は、システム改修の対策を実施した結果。赤のクリティカル表記が解消され、総合評価点が51から69に改善した例です。
- ・グラフ内に、赤(CVSS Critical)、オレンジ(CVSS High)があると、サイバー先進国(米国、英国、オセアニア等)の公共系システムでは、システム受け入れの許可が下りません。

ペネトレーションテスト(アクティブスキャン)だけでは不十分!パッシブスキャンも実施していますか?

一般的に脆弱性診断にはパッシブスキャン(ASMツール)と、アクティブスキャン(ペネトレーションテスト)の2種類があります。パッシブスキャンを用いることにより、ゾンビ端末/野良IoTに起因する「野良IP・野良サブドメイン」を検知します。これにより、アクティブスキャン(ペネトレーションテスト)実施時の診断漏れを防ぐことが可能です。

パッシブスキャン(ASMツール)



アクティブスキャン(ペネトレーションテスト)

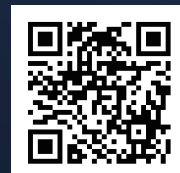


広範囲に渡る脆弱性診断分野

イーゼスEWの診断結果は、各発生分野ごとに分類されているため、改修作業の効率を大幅に向上させることが可能です。

CVE 共通脆弱性識別子	Cloud Cloudプラットフォーム診断	MAIL 送信ドメイン認証	BREACH データ侵害
WEBCERT Web認証関連	HEADER HTTPヘッダー関連	PORT ポートスキャン攻撃	野良端末検出機能 サブドメイン検出

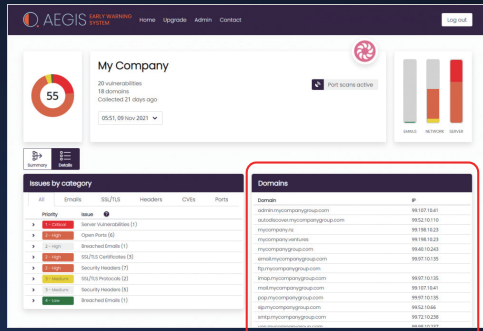
脆弱性診断分野の
詳細な技術情報は
こちらのQRコードから



サブドメイン自動検出機能

Nessus にも、OpenVAS にも無いオリジナル機能！

メインドメインだけでなく、サブドメインも自動検出して脆弱性診断。イージス EW の最大の特徴です！



サブドメインも自動検出！

脆弱性診断対象としてデータベース化

POINT!
必要な情報は、「メインドメイン名」だけで OK！

グラフィカルで見やすい総合評価点

ドメイン環境の脆弱性リスクをグラフ化！

診断結果の総合評価点を、(100点満点中 XX点) で表示します。

イージス EW は、サーバ脆弱性診断に詳しくないエンドユーザでも見やすく、わかりやすいものとなっています。
総合評価点は一般的な脆弱性診断に用いられるリソース群だけでなく、開発元である Titanium Defence Ltd. チームが保有する 30 年以上のサイバーセキュリティ・コンサルティングで得たチェック項目によって評価されます。

総合評価点のグラフ表記例

総合点が円グラフによって
分かりやすく示されます。



- 100 ~ 80 = 最小限のリスクで非常に安全度が高い
- 79 ~ 60 = 比較的安全度が高い … 部分的に「脆弱性リスク」あり
- 59 ~ 40 = 脆弱性リスクがある … 「重要度の高い脆弱性リスク」あり
- 39 ~ 20 = 安全度が低い … 「非常に重要度の高い脆弱性リスク」あり
- 19 ~ 0 = 深刻な状態にある … 「極端に危険な脆弱性リスク」あり

POINT!
専門知識は不要。
色分けで理解できる！

忘れられ、放置されたサーバを検知

パッシブスキャンにより『野良 IoT』の存在を検出します！

「野良 IoT」とは、忘れられ、放置されたネット上に存在する端末の総称です。過去に Amazon、PayPal などのメジャーなサービスもこの原因で被害に遭いました。



調査対象のドメイン名をベースに野良サブドメインと IP の組み合わせを調査します。対象項目は、HomePage の表記、メールサーバ、ファイルサーバ、SNS 系のサービスサーバ、DataBase サーバなどです。

POINT!
イージス EW の
無料診断ですぐに
チェックが可能です！

ペンテストにより、システムを深く検証

納品前のシステムのハードニング（堅固さ）を証明します！

アクティブスキャン（ペネトレーションテスト）を実施し、該当端末に脆弱性の攻撃パターンを掛けて、侵入を試みるアクションを実施します。

Cybersecurity Risk Rating（サイバーセキュリティ・リスク評価）は、マネージメント評価も含まれるケースが多いとされています。イージス EW は、技術的な要素に絞った診断機能となっています。

※弊社では、サイバーセキュリティ・マネージメント評価は IPA 等、多くの機関から各種ガイドラインが既にリリースされており、評価ツールも多数あるため、こちらを使用を推奨しております。

明瞭かつ低価格な導入コスト

調査対象のドメインに含まれる「メインドメイン」を「サブドメイン」の合計から価格が決定されます。

診断名	プロフェッショナル	エキスパート
診断内容	パッシブスキャン脆弱性チェック	アクティブスキャン脆弱性チェック
スキャン方法	パッシブスキャン	アクティブスキャン
ドメイン数・価格 (サブドメインを含む)	1~9 ¥93,500 (85,000) 100~199 ¥130,240 (118,400) 1000~2000 ¥176,000 (160,000)	1~9 ¥165,000 (150,000) 100~199 ¥275,000 (250,000) 1000~2000 ¥357,500 (325,000)
診断結果 有料セミナー	イージス EW をご購入いただいたお客様に向けた、 診断結果の無料説明セミナー（約 2 時間）です。 ¥165,000 (150,000)	

上記価格は、推奨販売価格表から一部抜粋したものです。
各プランの詳細価格、セミナー診断結果セミナーの詳細はお問い合わせください。

()は税抜価格

AEGIS EARLY WARNING SYSTEM

イージスEW 総合サイバーセキュリティ脆弱性診断ツール

あなたの組織のデジタル資産を守るために！
イージスEW を体験いただくことができます。

ドメイン診断【無料】

御社で最も重要とされているドメイン名を一つお知らせください。
例) <https://example.co.jp>

無料キャンペーンの診断結果
(サブドメインを含むドメイン数) を元にして、
イージスEW 有料版の正式な
お見積もりを作成することができます。

※ なお、診断結果は「個人情報取り扱い規約」
に基づき外部への開示等は一切おこないません。 [お申し込みフォーム](#)



個別デモ【無料】

イージスEW 個別デモンストレーション【無料】を
Web 会議ツール (zoom/Teams) にて承っております。

デモ内容は、ドメイン診断結果の実例を
もとに、主に UI の簡単な説明・深刻度
グラフの見方などを説明いたします。

イージスEW の使いやすさや豊富な機能に
ついて知ることができます。この機会に
是非お気軽にお申し込みください！



[お申し込みフォーム](#)

イージスEWの御紹介はこちら <https://mirai-cybersecurity.jp>

イージスEW 開発元 Titanium Defence Ltd. 社 について

イージスEW は世界で既に採用実績のある「総合サイバーセキュリティ脆弱性診断ツール」です。システム提供会社である「Titanium Defence Ltd. 社 (本社 New Zealand Upper Hutt, CEO&CTO Anthony Grasso)」に所属するイージスEW 開発・運用コアメンバーの多くは、米国政府機関、英国国家機関、オセアニア政府機関などにおいて脆弱性診断を実施した経験を持つプロフェッショナル集団により構成されています。



<https://www.titanium-defence.com>

[お問い合わせはこちらへ](#)

国内総販売代理店

株式会社未来研究所

〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目 5-6-2

TEL : 0463-96-2196

E-mail : info@future-research.jp

URL : <https://future-research.jp>



Future Research Co., Ltd. 2024年10月1日発行